

やまだ

ふるさとだより

第23号

令和6年2月5日

発行 山田地区ふるさとづくり
推進協議会(山田公民館内)

住所 富山市山田湯 880

電話 457-2055・FAX 457-2207

牛岳温泉スキー場



新年にあたって

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には穏やかな新年をお迎えしている矢先、1月1日に能登半島地震が発生しました。今までに体験した事のない地震を二度にわたり経験しました。能登半島だけでなく福井、石川、富山、新潟の皆様にはお見舞い申し上げます。

さて、昨年は7月12、13日にかけて線状降水帯の発生により山田地区に道路の損壊、田んぼの破損等、大きな被害が発生しました。その後も全国的な異常気象により稲作にも影響が出て一等米比率が低下しました。そして世界に目を向けますと、イスラエルによるガザ地区への攻撃、長期化するロシアとウクライナの戦争が未だに続いています。

悪い事ばかりが目立ちましたが嬉しい事は、WBC(ワールド・ベースボール・クラシック)にて日本チームはアメリカに勝ち優勝、大会 MVP に輝いた大谷翔平は、その後開幕した大リーグでもアジア人初のホームラン王、大リーグ史上初となる2度目の満票 MVP など数々のタイトルを獲得し、プロスポーツ選手史上最高額となる、10年1,015億円の契約をドジャースと結びました。サッカー女子ワールドカップ、ラグビーワールドカップにおいても活躍が見られ日本を盛上げて頂きました。

昨年の文化祭も午前中で終了となりましたが、内容の濃い文化祭となり、関係されたスタッフの皆様には感謝申し上げます。

昨年より中核型地区センターが同居する事になった山田公民館は皆様の憩いの場所です。みんなでわいわいがやがやの中、みんなで助け合い協力しながら前に進みたいと思っております。

今後とも「和気あいあい・常に前向き・住んでよかった」と思われるふるさとづくりに向け、皆様方のご理解ご協力を得ながら一層取り組んでまいりたいと考えております。

皆様にとりましても、今年も良い年でありますようお祈り申し上げます。

山田地区ふるさとづくり推進協議会

会長 吉田 良雄

山田地域住民運動会

令和5年10月8日(日)山田地域住民運動会が山田総合グラウンドにて開催されました。

雨天中止と新型コロナウイルス感染防止のための中止で5年ぶりの開催となりましたが各チーム・選手・役員の皆様方のご協力で、けが人もなく無事終えることができました。優勝は西部チーム、準優勝は小島チーム、三位は東部チームでした。来年度も皆様方の参加をお待ちしております。



優勝の西部チーム



なかなかつかめない



そ〜っと こぼさず



おっ！ 入ったー！



1が出ますように

山田川の生態調査



昨年11月、湯地区を流れる山田川で、住民の皆さんが生き物調査を行いました。

秋に多く見られる魚…カジカ、タカハヤと、サクラマスの子魚、ウグイ、ドジョウ、メダカ、お腹に吸盤を持つヨシノボリが見つかりました。

県水産研究所研究員の方々から、「山田川は水温が低く、人家に近い所で立派な魚がいる良い環境です。」と、魚の種類や特徴を教えてくださいました。

4、50年ぶりに魚を見た人、初めて魚に触れる子供たちで大変盛り上がりました。

研究所の田後泰彦お魚博士は子供たちに、「皆さんが大きくなったら、もっと魚を増やしてください。」と、優しいメッセージを送っていました。

地域の豊かな自然再発見！この体験は、富山県水産研究所、山田中核型地区センター、隣接地域漁業組合員の方々のご協力で実現しました。

誠にありがとうございました。

湯地区自治会長
山田 三和子

山田地域文化祭

11月3日(金・文化の日)山田公民館にて、山田地域文化祭が開催されました。

当日は、天候にも恵まれ、たくさんの方々にご来場いただきました。

ステージ発表では、詩吟教室、オカリナ演奏、八尾保健福祉センターの東井さんによる心疾患説明会、保育所園児のかわいい遊戯、小学校の伝統あるマンドリン演奏と学習発表、中学校の合唱があり、会場からは大きな拍手が送られました。

山田赤十字奉仕団のみなさまには、お持ち帰り用のおにぎりをご用意いただきました。また、各種団体の方々からは多くの力作を出展いただきました。出演、出展、ご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。



☆ 富山市民大学特別講演会 ☆



市民大学特別講演会では「笑いとコミュニケーション」と題して落語家、三遊亭良楽さんの落語が開催されました。

良楽さんの富山弁での面白くおかしくユーモアたっぷりの多彩な演技と落語で、会場内からは笑いの声が絶え間なく続き、とても楽しい講演会となりました。

山田地域 はたちの集い

日時 令和6年1月7日(日)
会場 山田公民館(3階体育室)
『新はたちの抱負』



谷浦 凧海さん

20歳の節目を迎え、これまで過ごしてきた山田に対して深く感謝したいと思います。この小さなコミュニティが私にとっての原点であり、人生におけるスタート地点でした。山田に感謝しその恩恵に報いる一方で、様々なゴールに向かって積極的に挑戦し、広い視野を持って成長していくことが私の大きな目標です。山田で学び、感じた温かさや価値観を胸に、より良い未来への一翼を担っていくことを心から楽しみにしています。

井上 莉緒さん

”はたち”という大きな節目を迎えることができ、大変嬉しく思います。

20年間で大きく成長でき、今の自分があるのはどんな時でも支え続けてくれた家族、共に笑い合い助け合った友人などのおかげです。本当にありがとうございます。私は4月から社会人となります。不安な気持ちもありますが、社会人としての自覚や責任感を持ちながら一日一日を大切に過ごし、感謝の気持ちを忘れずに頑張りたいです。

お祝いの言葉

二十歳の皆さん、こんにちは。本年は正月早々能登半島地震が発生し、能登方面では震度7、富山では震度5強の強い地震に見舞われました。お亡くなりになられた方には心より哀悼の意を、被災された方にはお見舞いを申し上げます。一日も早い復興復旧を願って止みません。

新しい時代を担う皆さんが、心身ともに健やかに成長して二十歳を迎えられたことに、心からお祝いを申し上げます。また、今日まで、慈しみ育ててこられました保護者やご家族の皆様にもお慶び申し上げます。

小学校や中学校を卒業するとき、将来の夢を書いたり、語ったりしたと思います。その夢を今も追いつけている人、また、違った夢を追いつけている人もいるかもしれません。自分が一生懸命になれる「ワクワクする目標」をぜひ持ってもらいたいと思います。失敗することもあると思います。失敗してもいい、失敗したらまた「挑戦」する。「挑戦」、チャレンジすることが人生を楽しくしてくれると思います。失敗を恐れずに目標に向かってぜひ挑戦を続けてください。

結びに二十歳を迎えられた皆さんの人生が充実し、大いにご活躍されますことを、お祈り申し上げます。

山田地域自治振興会
会長 山田 憲彰